

回収率 88.9%(N=16)

所属	人数
小学校	10
中学校	4
その他	2

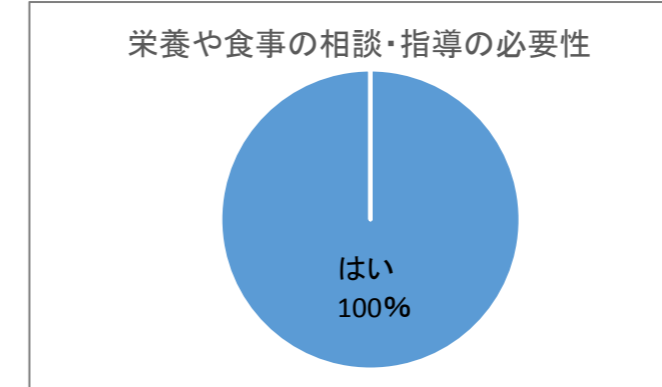
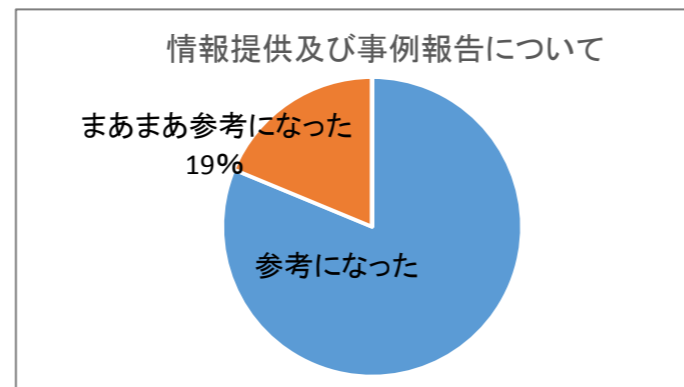
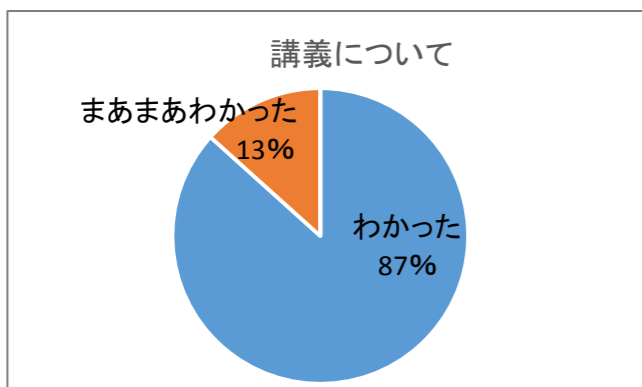
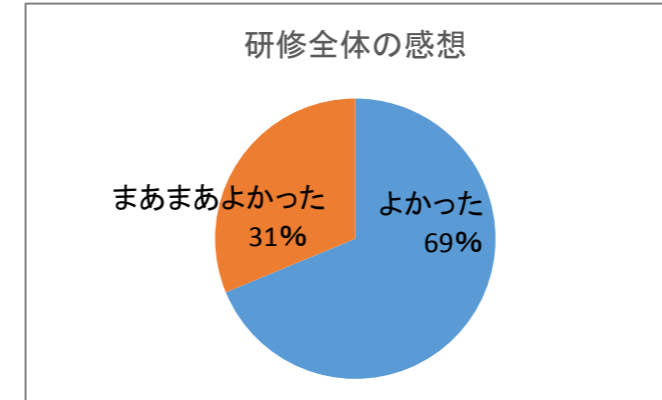
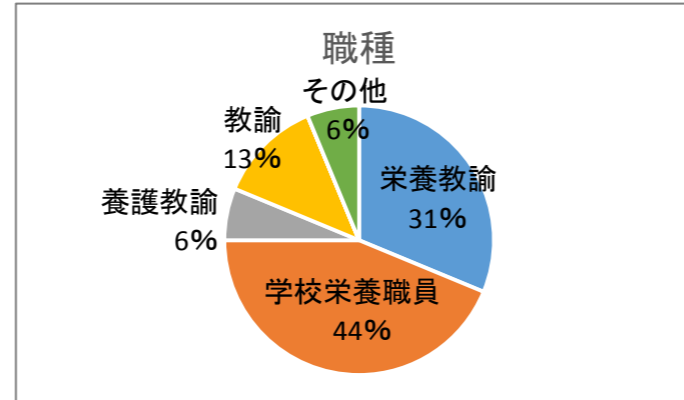
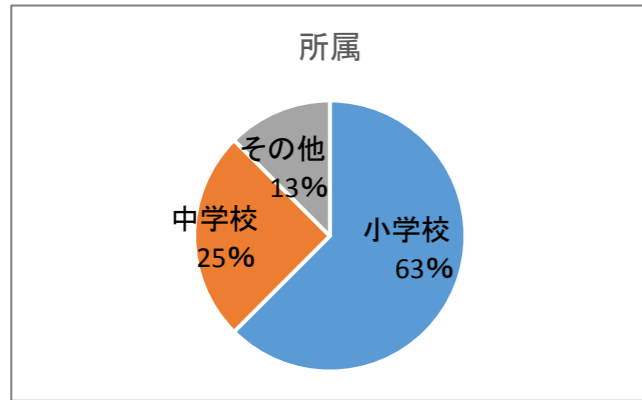
職種	人数
栄養教諭	5
学校栄養職員	7
養護教諭	1
教諭	2
管理職	0
その他	1

研修全体の感想	人数
よかった	11
まあまあよかった	5
あまりよくなかった	0
よくなかった	0

講義「児童生徒の体格の現状と管理栄養士・栄養士の役割について」	人数
わかった	13
まあまあわかった	2
あまりわからなかった	0
わからなかった	0
参加できなかった	1

情報提供・事例報告について	人数
参考になった	13
まあまあ参考になった	3
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0

栄養・食事相談や指導の必要性	人数
はい	16
いいえ	0
わからない	0



<今後、特別な配慮が必要な体格の児童・生徒への支援を行う上で必要と思われるもの(まとめ)>

- ・養護教諭、栄養教諭、学校医、担任、保護者などの連携
- ・学校医の協力
- ・肥満度50%以上の児童に関して学校医の指導が受けられる体制づくり
- ・職員、保護者の子供の成長への意識改善
- ・小中の関係職員が考える時間をもつこと
- ・市としての指導方針や肥満度などのデータ管理
- ・子どもや保護者に指導の必要性を理解してもらうこと

<その他感想まとめ>

- ・PDCAが大切。情報の共有が健康教育を担う立場としては大切と感じる。
- ・養護教諭の方とも一緒に研修会をしたかった
- ・どの学校でも同じような支援ができるように人材があれば理想的。
- ・具体的な個別指導の方法や指導教材などが知りたい。

<考察>

多職種で子どもの健康管理に関する現状把握と課題の共有ができ、栄養や食事の相談の必要性が理解された。子どもの健康管理のために多職種による情報共有や連携、一定の方針や基準が求められており、今後の体制づくりが必要である。

#### 【今後の支援で必要と思われるもの 詳細】

- ・栄養教諭・栄養職員と養護教諭の連携。(多数)
- ・個人の(体格の)把握をしているが、本人へのアプローチに対して所属間の小中の関係職員が話題として考える時間を持つことが大切である。
- ・学校医による診断をもって保護者にアプローチがしやすくなるので、学校医にも協力をお願いしたい。
- ・保護者に会い、まず指導の必要性を知ってもらうこと。
- ・奈良市として、肥満度50%以上の児童に関しては学校医の指導をするような体制作りがあれば強く思います。成長曲線の評価方法。体重身長デジタル化(測定するとコンピューターに入力される)
- ・各学校独自で対策することに困難がある。幼児期から中高生、せめて小中の間だけでも一貫したデータ管理や指導指針を市からおろしていただけると良いと思いました。
- ・正確なデータをもとにして、栄養教諭・養護教諭・担任や関わりのある教師との連携が大切。子どもの望ましい成長発達を願っているという姿勢が保護者に伝わるような取り組みが必要。
- ・職員の連携、共通理解、情報の共有。(養護教諭、担任など)
- ・保護者の把握、生活リズムなど家庭環境の把握が必要だと思う。個々の体格のデータや傾向など指導する際に情報が必要です。
- ・中学校での二測定が年に一回なので把握しづらい。ANの生徒に対してのカウンセリングを含む保健指導のスキルや医師との連携。
- ・栄養士も健康カードの中身やその結果から養護教諭が保護者や児童にどのようなアプローチを行っているのかを知ること。実態把握が必要。
- ・子どもの肥満の専門医院があれば、病的な肥満の子供の受皿のなるのでありがたい。夏休み中の肥満教室なども開催して欲しいと思います。
- ・養護教諭と連携をとり、保護者や生徒一人一人にアプローチをしていくことが必要だと思う。
- ・子どもに問題意識をどうもたせられるか？指導相談に来やすい環境づくりをどうすすめるか？
- ・各園の園児の実態把握(給食の喫食量、体格など)を実施した上で、各園に応じたアプローチが必要である。現在、統一献立により基準が一つであるため、各地域性に基づいた各園への調整ができていない。

#### 【感想 詳細】

- ・いろんな事を取り組みをする時、PDCAがとても大切。情報の共有というのが健康教育を担う立場としては大切であると感じる。
- ・どの学校でも同じような支援ができるように人材があれば理想的。栄養士の先生が各校に配属されることを切望しています。お一人が何校か担当するという形は無理があるのでは。
- ・具体的な個別指導の方法や指導教材などが知りたい。栄養士として個別指導の技術を高めることも大切だと思う。普段の業務に追われていて個別指導に対応する資質が十分ないと思う。資質向上に取り組む必要性を実感した。
- ・保健所、大学講師、栄養教諭など色々な職種の話から聞いたことがとても勉強になった。
- ・このような研修の場がもっと広がるとよい。
- ・具体的な事例を紹介していただいたことで、今後本校でも子供の体格の問題に対しての取り組みを行う上でのヒントを頂けた。とても良い時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・市の栄養士として、また園の給食を担う者として各課や各園と連携をとって、保護者へアプローチしていかなければならない重要性を再認識しました。小学校の栄養教諭の働きかけ方をグループワークで知ることができ、課の栄養士としての動きを改めて考えさせていただきました。まずは各園の喫食量や体格調査から始めることができたかと考えています。
- ・本日の研修会に奈良市の養護教諭も参加できる日程調整していただければ、さらに会議の内容を考える良い研修になったと思う。異種交流(給食主任、栄養士、養護教諭、市の健康増進課の栄養指導員)がメンバーに入り、現場の連携や奈良市の課題(成長曲線をいかに保護者と子供が大切に考えることができるものになるか?)を市政委がまとめていってほしい。
- ・栄養管理側からだけでなく、養護・保護者側からのアプローチが重要だと思うので養護の先生も一緒に参加させていただきたかったです。
- ・研修会アンケートの8.栄養士の配置についてですが、奈良市教委として配置されているので、H28.1月以降全小中には配当校ということで配置はなくても関わる体制があるので今後はこのような項目はさけて頂く方が良いのではと思います。出席者一覧表の記載間違いが複数ありました。
- ・所属が違う先生の話が聞けてよかったが違い過ぎて難しかった。